

令和2年度 公益財団法人長岡市国際交流協会 事業報告

※新型コロナウイルス感染症拡大により訪問・受入事業を中止または来年度に延期し、代替事業を実施した。

第1 都市間交流の推進

姉妹都市や友好都市をはじめ、その他諸都市との市民レベルの交流を活発に展開した。

1 姉妹都市フォートワース市(アメリカ合衆国)との交流事業

No.	受入人数		訪問人数		期 間		回数	項 目	内 容
	生徒	大人	生徒	大人	始期	終期			
1					8/6	8/9		「平和のベル」プロジェクト	戦後75年間の平和を記念し、広島・長崎への原爆投下と同時刻に、フォートワース・長岡の両市民が同時にベルを鳴らした。参加者から提供された動画や写真をフォートワース姉妹都市協会及び当協会のSNSに掲載し、平和の実現に向けた情報発信とリモートでの姉妹都市交流の推進を図った。
2					9月	令和3年5月		トリニティバレー校とのオンライン家族交流	トリニティバレー校に通う生徒の家族と長岡の家族計10組がペアを組み、メールやスカイプを通じ家族交流を行った。
3					10月	2月		フォートワース青少年とのリモート交流	フォートワース姉妹都市協会青少年部会のメンバーと帝京長岡高校生徒がビデオメッセージの交換を通じて交流した。

2 姉妹都市トリアー市(ドイツ連邦共和国)との交流事業

No.	受入人数		訪問人数		期 間		回数	項 目	内 容
	生徒	大人	生徒	大人	始期	終期			
1					4/21			在トリアー友好大使表彰	新型コロナウイルス感染症拡大により来年度に延期した。
2					11月	1月		クリスマス&新年メッセージビデオの送付	トリアー市の観光協会が同市の姉妹都市から各10秒間のメッセージビデオを集め、編集したメッセージビデオを同観光協会のSNS等で発信する事業に協力した。
3					3/20			春のトリアーバーチャルツアー	ドイツ国内での新型コロナウイルス感染症拡大によりとりやめた。

3 姉妹都市ホノルル市・郡(アメリカ合衆国)との交流事業

No.	受入人数		訪問人数		期 間		回数	項 目	内 容
	生徒	大人	生徒	大人	始期	終期			
1					7/18	7/22		戦後75周年姉妹都市ホノルル市との平和交流パネル展	戦後75周年の節目に当たり、ホノルル市との未来志向の姉妹都市交流を市民に広く知ってもらうため、パネル展を開催した。姉妹都市になった経緯や、両市の平和交流を紹介した。(長岡戦災資料館主催「長岡空襲75年企画事業 長岡空襲体験画特別展」と併催) ※7月23日～8月3日 市民センターにて追加展示
2					11/8	12/8		平和パネル制作	終戦75周年を記念し、市民のメッセージ写真から成る平和のパネルを制作し、市長のメッセージを添えたメイキングビデオをホノルル市等に送付した。その後、ホノルルのコールドウェル市長(当時)から両市の平和交流へのメッセージが寄せられ、12月8日にアオーレ長岡で献花台の設置とともに上映された。
3					12/8	1/28		ホノルルオンライン平和学習(中学生向け)	長岡市立南中学校2年生を対象に、オンラインによる現地生徒との平和に関する意見交換や、太平洋戦争関連施設のバーチャルツアーなどを通じた平和学習を行った。(長岡市「熱中!感動!夢づくり教育」事業)
4					3/10			ホノルルオンライン平和学習(小学生向け)	長岡市立希望が丘小学校6年生を対象に、オンラインによる前ホノルル市経済開発局長ホーキンス氏からの平和や両市の交流についての講話を通じた平和学習を行った。

第2 多文化共生の推進

長岡市国際交流センターとの連携や共催・後援事業、その他既存事業をとおして、在住外国人市民との交流を深め、多文化共生の推進を図った。

No.	項 目	内 容
1	留学生応援プロジェクト (実施時期:6月及び1月)	(株)原信の協賛により、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、不安を抱えながら頑張る市内在住の留学生に対し、食料品等の配布を通じて支援を行った。 配布実績:全9校、延べ556人
2	世界を知ろう!カードゲームで学ぶSDGs ワークショップ (実施日:8月23日)	国際的に関心の高まっているSDGs(持続可能な開発目標)について理解を深め、国際人として自分たちの行動を見つめ、意識やビジョンを共有した。国連本部でも使われたカードゲームを使い、ワークショップ形式で実施した。参加者:24人
3	多文化共生セミナー (実施日:11月28日)	(一財)ダイバーシティ研究所代表理事を講師にお招きし、在留外国人の増加が見込まれる中、互いの文化を認め合い共に生きる多文化共生社会の実現に向け、多文化共生の重要性への理解を深めてもらうことを目的にセミナーを実施した。 参加者:36人

第3 人材育成事業

No.	項 目	内 容
1	ワールドリーダーズセミナー (実施日:10月18日)	(株)このみ代表取締役、リボンプロダクションズ代表のお二人を講師にお招きし、お話を伺うことで、青少年に将来の進路や職業を考えるためのヒントを得る機会を提供した。(長岡市「熱中！感動！夢づくり教育」事業) 参加者:33人
2	留学生と巡る長岡探訪ツアー (実施日:11月7日、11月21日、12月12日)	長岡の高校生が留学生とともに市内を巡り、長岡に対する知識を深めた。若者と外国人の新たな視点で長岡の魅力を再発見し、世界へ発信する力を身につけた。 参加者:12人
3	(公財)長岡市米百俵財団主催「米百俵未来塾」への参画 (当協会主管事業の実施日:1月30日)	長岡開府400年を契機に、“新しい米百俵”として、開府400年記念の寄附金を活用して開催される「米百俵未来塾」に、市内6つの関係団体とともに共同主催として参画した。当協会は「世界はトモダチ～話そう！見つけよう！平和のヒント～」として、外国人留学生と交流を持つことで、互いの文化を学びながら皆が平和に安心して暮らせる多文化共生社会について考える講座を実施した。
4	訪日外国人おもてなし研修 (実施日:2月6日)	ANAビジネスソリューション株式会社から講師をお招きし、地域による価値観や文化・コミュニケーションスタイルの違いや、言葉以外のコミュニケーション(ノンバーバルコミュニケーション)の重要性を理解し、外国人への対応力の向上を目指した。 参加者:34人
5	OBOG動画配信プロジェクト	昨年度の事業参加生からプログラム参加経験を語ってもらい、撮影した動画をSNS等で配信した。中高生に視聴してもらうことで自身の参加の検討材料としてもらうとともに、賛助会員や市民に向け協会事業の意義や成果を広報した。

第4 会員相互連携事業

No.	項 目	内 容
1	協会機関紙「HOWDY」発行(年3回)	協会の機関紙(市の事業案内含む)を年3回(5月、10月、1月)発行した。